

平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	海田町立海田東小学校		
学校長氏名	大橋 綾子	栄養教諭氏名	須山 明香
職員数	40名	児童・生徒数	521名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

昨年度実施した生活しらべアンケートにおいて、「朝ごはんを食べている」と答えた児童は98.5%であり、喫食率は高かった。しかし、その内容を見てみると、おかずを何かひとつしか食べていないという児童も多く、朝ごはんの内容の充実が課題である。また、朝ごはんについては児童だけでなく、保護者の意識も高めていくことが重要である。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

朝ごはんの内容を把握するため、生活しらべアンケートにおいて、3～6年生を対象に「どんな朝ごはんを食べているか」という質問項目を設け、「ちよっぴり朝ごはん（なにかひとつだけ）」、「とりあえず朝ごはん（2つのおかずを組み合わせる）」、「なんとか朝ごはん（3つを組み合わせる）」、「かなりの朝ごはん（4つを組み合わせる）」、「ばっちり朝ごはん（5つを組み合わせる）」の5つから解答させた。今年度は3つのおかずを組み合わせる食べた「なんとか朝ごはん」の児童が35%以上になることを目標とした。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ）給食時間や学級活動における朝食指導の実施

1日1クラスという形で、給食の時間における食に関する指導を行っている。その中で、赤・黄・緑の3色食品群にはどんな働きがあり、どんな食品があるかということと関連づけながら指導を行い、朝ごはんにも3つの色（おかず）をそろえることを促した。

また、学級活動における朝食指導を参観日等に行い、保護者への啓発にも努めている。

【取組2】（テーマ）「^{さあゴー}350！ベジ食べる朝ごはん川柳&レシピ」の募集、冊子作成

海田町食育推進計画の重点プロジェクト「^{さあゴー}350！かいたベジ食べるプロジェクト」と連携し、保護者と共に朝ごはんの大切さについて考える取組として、昨年度に引き続き、「朝ごはん川柳」と「朝ごはんレシピ」の募集を行った。応募された川柳630点、レシピ350点の中から、川柳18点、レシピ19点を選出し、冊子にまとめ、全家庭へ配布することで、野菜を取り入れたバランスのよい朝ごはんを1日をスタートさせることを呼びかけた。



【取組3】(テーマ) 保護者を対象とした給食試食会の実施



1回目は1年生、2回目は全学年の保護者を対象に、年2回、給食試食会を行っている。その中で、朝ごはんの重要性についての講話や簡単にできる朝ごはんレシピの紹介を行った。

朝ごはんを食べることはもちろんであるが、忙しい朝でも簡単にバランスのよい朝ごはんを食べることができるレシピを提案することで、「これならできそう。」「早速作ってみます。」という声多く聞かれた。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

「東小まつり」で保護者と連携し、今年度のひろしま給食のうち3品の調理を行い、バザー会場で、保護者や地域の方々に試食を提供した。

家庭でも作って食べることができるよう、レシピを配布したり、作り

方をアドバイスしたりしながら働きかけた。また、今年度だけでなく、今までのひろしま給食のレシピをまとめた手づくりリーフレットを作成・配布し、あわせてPRを行った。



5 取組に対する成果と課題

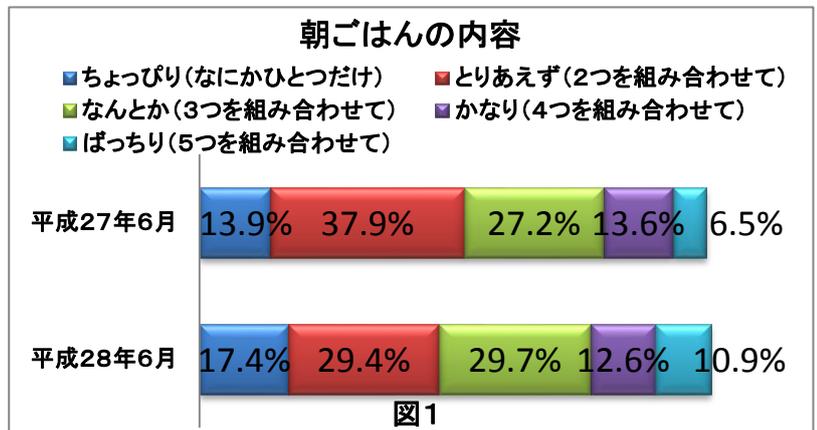
【成果】

昨年度に比べ、おかずを3つから5つ組み合わせ食べている児童の割合が47.3%から53.2%に増加し、朝ごはんの内容を充実させようとする意識があがってきていることがわかる。

また、PTA行事等で保護者と連携する機会も多く設けることができた。

【課題】

3つのおかずを組み合わせ食べた「なんとか朝ごはん」の児童の割合は29.7%と、今年度目標としていた35%には達しなかった。朝ごはんの内容に課題がある児童は固定化しているため、どう働きかけていくかが今後の課題である。



6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・朝ごはんの特化した試食会等、今後も保護者が参加し、連携していくことができる取組を実施する。
- ・食育を推進するためには、校内での共通理解が必要であるため、指導計画や内容を明確にし、一貫性のある指導となるよう、今後も養護教諭や担任等との連携を密にしていきたい。